

## 降神の神楽

神の降臨を願い、里人などの無病息災・家内安全と舞人の安全を願う舞です。

### ★神宮(じんぐう)

一人舞で扇と鈴を持っています。

### ★祝詞(のりと)

奉納の祝詞を奏上します。

### ★多玖佐(たぐさ)

三人舞いで、各々刀・弓・幣と鈴を持っています。

### ★四神(しじん)

四人舞いで鈴と幣を持っています



四神

## 曲芸的な神楽

### ★相撲(すもう)

神代においては、経津主神・武御名方の神が出雲の稲佐の浜で力を合わせたのが相撲の初めとされるが、11代垂仁天皇の御前で当麻蹴速と野見宿弥が相撲をとったのが現在に受け継がれています。その再現を神楽にしたものです。



## 神話(伝説)を再現する神楽

### ★問答(もんどう)

鬼と翁の問答で、鬼は根の国(黄泉の国)に住むものとされ、その鬼が天神(あまつかみ)に諭される場面を神楽にしたものです。

### ★猿田彦(さるたひこ)

天兒屋根命・猿田彦・先祓神・鈿女命が登場します。

天孫降臨の場面を再現したもので、瓊々杵命が、先祓神を召され道案内をさせます。日向の高千穂の峯まで進まれ、行先が幾筋にもなって困った時、鈿女命を召し猿田彦に道先を問われる場面を神楽にしたものです。

### ★磯羅(いそら)

武内大臣・志賀大明神・豊姫命・綿津見神が登場します。

神功皇后が異国征伐をなすに当たり臣下の武内宿禰に命じ、志賀神に船を準備させ、綿津見神が持っている潮の満ち干ぎを自由にできる干珠・満珠の宝を、豊姫の色仕掛けの舞で珠を得ようとする場面を再現したものです。

### ★岩戸(いわと)

天の岩戸開きを再現したものです。

思兼命・素盞鳴男命・鈿女命・手力男命が登場します。天の岩戸開きを再現したものです。



磯羅

## 清祓の神楽



荒神

神・剣・米・矢などは、神の依代とされ、人や敷地などを祓い清めるものとされています。それらを手に採り、四隅を祓い清め悪疫退散、五穀豊穡を祈念する神楽です。

### ★神(さかき)

両手に榊葉を持ち、四方を祓い清める舞です。

### ★両刀(りょうとう)

両手に剣を持ち、四方を祓い清める悪魔祓いの舞です。

### ★荒神(あらかみ)

黒鬼面を付け、手桶の水で周囲を祓い清める。鬼自体が悪疫退散の意味をもっています。赤ちゃんを抱かせ無病息災を願う鬼舞です。

### ★敷蒔(しきまき)

両手に米を入れた折敷を持って舞う五穀豊穡の舞です。

### ★天神(てんじん)

二人舞で、共に弓と矢を持ち、四隅に矢を射る舞です。

### ★御弓(おんゆみ)

二人舞で、弓の舞と剣の舞があります。

### ★大山(おおやま)

四人舞いで、共に刀と鈴を持ち四隅を清め祓う舞です。